

| | | | |
|--|--------------------------------|-------------|-----------------------------|
| 授業科目名： 哲学・倫理学 | 教員の免許状取得のための 選択必修科目 | 単位数： 2単位 | 担当教員名： 西巻 文児 担当形態： 単独 |
| 実務内容 (実務家教員の場合) | | | |
| 科目 | 教科及び教科の指導法に関する科目（中学校社会、高等学校公民） | | |
| 施行規則に定める 科目区分又は事項等 | 教科に関する専門的事項 | | |
| 「学位授与の方針」との関係 DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力） DP5.共生社会創造の目的のために、様々な分野について絶えず学び続ける態度を持つことができる（継続力） | | | |
| 授業のテーマ及び到達目標 哲学とは一体何なのか。どのような問題を扱ってきたのか、それをどのように考えてきたのか、また、どのように考えたらいいのかをみずから考えるという、哲学的な思考法を身につけることができる。 また、倫理学で論じられる主要な問題をとりあげ、その問題がどのように考えられてきたのかを代表的な倫理学者の見解を踏まえながら、倫理的な諸問題を考察していき、倫理学・道徳の諸問題を自分の身近な問題として考えることができる。 | | | |
| 授業の概要 「自分ってなんだろう?」「よく生きるためにはどうすればよieldらう?」、結局のところ「人間とはなんだろう?」。あなたもこれらの事柄を少なからず考えたことがあるのではないだろうか。日々の暮らしの中に、自分自身の生き方を考える様々なヒントが隠れている。この授業では「知ること」、「実践すること」を中心にしてそれぞれの哲学者・倫理学者たちが歩んできた思索の道をたどり、哲学的・倫理的な諸問題を考えていく。 | | | |
| 授業計画 第1回：哲学的な問いの次元（1） ー日常生活のどこにでもある哲学の諸問題ー 第2回：哲学的な問いの次元（2） ー<私>は何を知ることができるのかー 第3回：客観とは何か ーありのままの姿とはー 第4回：存在の追求（1） ー客観と実体という考え方についてー 第5回：存在の追求（2） ー実体という考え方についてー 第6回：存在の追求（3） ー実体を問題にせざるをえない人間ー 第7回：実体から主観へ ー根拠の根拠としての主観1ー 第8回：主観とは何か ー根拠の根拠としての主観2ー 第9回：意識とは何か ー根拠の根拠としての主観3ー 第10回：存在とは何か ー根拠の根拠としての主観4ー 第11回：哲学的な問いの次元（3） ー<私>は何をなすべきなのかー 第12回：自由とは何か ー自由の諸相についてー 第13回：自由の諸相（1） ー意志の自由についてー 第14回：自由の諸相（2） ー社会的自由についてー 第15回：まとめ | | | |
| スクーリングでの学修 スクーリングではすべての内容について包括的に取り上げる。 | | | |
| テキスト 伊藤邦武（2012）『物語 哲学の歴史 ー自分と世界を考えるために』中公新書 | | | |
| 参考書・参考資料等 熊野純彦（2006）『西洋哲学史ー古代から中世へ』岩波新書 熊野純彦（2006）『西洋哲学史ー近代から現代へ』岩波新書 樫山欽四郎（1964）『哲学概説』創文社 | | | |
| 学生に対する評価 スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%） | | | |